

令和2年3月17日

コメント

あき総合病院において、令和元年に行われた手術で患者さんの右腹部に留置していたドレーンが体内に脱落し、約3ヶ月間にわたり残されたままとなっていた事実が判明をいたしました。

患者さんご家族の皆様へ、多大なる心身のご負担と、ご迷惑をおかけいたしましたことを、深くお詫び申し上げます。

今後、このようなことのないように、再発防止策の徹底を図りますことで、県民の皆様からの信頼回復に努めてまいります。

高知県公営企業局長           北村 強  
高知県立あき総合病院長   前田 博教